

## 大会経費の最終報告等について

### 1 大会経費の最終報告

令和 4 年 6 月 21 日に開催された組織委員会理事会において、大会経費の最終報告が承認された。

	大会経費 V 5 2020年(令和 2 年)12月	見 通 し 2021年(令和 3 年)12月	最 終 報 告 2022年(令和 4 年) 6 月
組織委員会	7,210億円	6,343億円	6,404億円
国	2,210億円	1,939億円	1,869億円
東京都	7,020億円	6,248億円	5,965億円
計	1兆6,440億円	1兆4,530億円	1兆4,238億円

※ 組織委員会は、収入・支出ともに 6,404 億円となり、収支均衡

### 2 組織委員会の解散

組織委員会は、関係法令及び定款に基づき、残務を結了させたため、令和 4 年 6 月 30 日をもって解散することを、同月 21 日の理事会において承認し、同月 27 日の評議員会において決定した。

組織委員会は、同月 30 日をもって解散し、7 月 1 日に解散公告を行った。

なお、同理事会において、組織委員会の資産の保存・承継について、報告された。

#### <参考資料 1 >

- ・第 50 回組織委員会理事会（令和 4 年 6 月 21 日開催）資料（抜粋）

#### <参考資料 2 >

- ・令和 4 年 7 月 1 日官報号外 144 号（抜粋）

# 大会経費

(単位 億円)

	組織委員会	その他	東京都		支出計
			東京都	国	
会場関係	1,955 (534)	6,694 (534)	5,187 (267)	1,506 (267)	8,649 (1,067)
恒久施設	—	3,491	2,252	1,240	3,491
仮設等	1,043 (363)	2,343 (363)	2,161 (182)	182 (182)	3,386 (726)
エネルギーインフラ	162 (83)	454 (83)	413 (42)	42 (42)	616 (167)
テクノロジー	750 (87)	405 (87)	362 (44)	44 (44)	1,156 (175)
大会関係	4,449 (223)	787 (223)	675 (112)	112 (112)	5,236 (447)
輸送	347 (45)	170 (45)	147 (22)	22 (22)	517 (90)
セキュリティ	263 (48)	468 (48)	444 (24)	24 (24)	731 (95)
オペレーション	1,576 (129)	147 (129)	83 (64)	64 (64)	1,723 (258)
管理・広報	767 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	769 (4)
マーケティング	1,299 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1,299 (0)
その他	196 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	196 (—)
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	353	103	251	353
支出計	6,404 (757)	7,834 (757)	5,965 (379)	1,869 (379)	14,238 (1,514)

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 見直し公表時の組織委員会、東京都、国による三者合意に基づき、「共同実施事業負担金(安全対策)」として628億円を一括で組織委員会の「支出計」から減額して都の「支出計」に計上していたが、工事等が完了し、219億円減の409億円となり、各事業の内訳も確定したため、「仮設等」に301億円、「エネルギーインフラ」に60億円、「テクノロジー」に48億円を反映し、「共同実施事業負担金(安全対策)」の項目を削除。

(注3) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(注4) ( )は、うちパラリンピック経費分である。

## 大会経費の主な内容

(単位：億円)

項目	支出	主な内容
<b>会場関係</b>	8,649	
恒久施設	3,491	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立競技場の整備 1,670</li> <li>・東京アクアティクスセンター、海の森水上競技場、有明アリーナ、カヌー・スラロームセンター、大井ホッケー競技場等の整備 1,822</li> </ul>
仮設等	3,386	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場における仮設オーバーレイの施工・撤去 2,827</li> <li>・会場の使用料等 522</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会ルックの製作、実装等 37</li> </ul>
エネルギーインフラ	616	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場における仮設電源設備の整備・撤去 531</li> <li>・会場の光熱費等 50</li> </ul>
テクノロジー	1,156	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像用回線ルートの整備・撤去 138</li> <li>・通信インフラの整備・撤去 357</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの整備 319</li> <li>・ITセキュリティ 40</li> </ul>
<b>大会関係</b>	5,236	
輸送	517	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会関係者輸送用バスの車両調達・運用及び運行管理 156</li> <li>・大会関係者輸送用フリート（乗用車）の車両調達・運用及び運行管理 118</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送支援スタッフ等 102</li> <li>・車両デポ等の整備 61</li> </ul>
セキュリティ	731	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間警備会社による競技会場等の施設警備 309</li> <li>・統合映像監視システム等の整備 383</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警備資機材 21</li> </ul>
オペレーション	1,723	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場運営 161</li> <li>・競技運営 99</li> <li>・競技用備品 99</li> <li>・競技プレゼンテーションの実施 54</li> <li>・ドーピング検査 35</li> <li>・飲食の提供 145</li> <li>・選手村の運営及び維持管理 164</li> <li>・聖火リレー 98</li> <li>・開閉会式 153</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOC/NPCに対する旅費補助 34</li> <li>・大会関係者の宿泊等 132</li> <li>・倉庫等の整備及び会場等への機材の搬出入 111</li> <li>・医療機器及び医薬消耗品等 15</li> <li>・出入国運営 13</li> <li>・清掃業務委託 15</li> <li>・標識の製作、設置等 23</li> <li>・テストイベント実施運営委託 43</li> </ul>
管理・広報	769	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 327</li> <li>・オフィス賃料 117</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動 91</li> </ul>
マーケティング	1,299	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入運動経費（ロイヤルティ等）1,077</li> <li>・チケット販売システムの開発及び運用 90</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チケットオペレーションの実施 5</li> </ul>
その他	196	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種保険 47</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清算対応144</li> </ul>
新型コロナウイルス感染症対策関連	353	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート等を対象とした検査体制等の整備等 148</li> <li>・大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応 205</li> </ul>
<b>支出計</b>	14,238	

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

## 東京都の支出の主な内容

(単位：億円)

項目	支出	主な内容
<b>会場関係</b>	5,187	
恒久施設	2,252	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立競技場の整備 430</li> <li>・東京アクアティクスセンター、海の森水上競技場、有明アリーナ、カヌー・スラロームセンター、大井ホッケー競技場等の整備 1,822</li> </ul>
仮設等	2,161	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場における仮設オーバーレイの施工・撤去 1,792</li> <li>・会場の使用料等 347</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会ルックの製作、実装等 22</li> </ul>
エネルギーインフラ	413	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場における仮設電源設備の整備・撤去 387</li> <li>・会場の光熱費等 3</li> </ul>
テクノロジー	362	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像用回線ルートの整備・撤去 52</li> <li>・通信インフラの整備・撤去 234</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの整備 12</li> </ul>
<b>大会関係</b>	675	
輸送	147	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会関係者輸送用バスの車両調達・運用及び運行管理 12</li> <li>・大会関係者輸送用フリート（乗用車）の車両調達・運用及び運行管理 40</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送支援スタッフ等 1</li> <li>・車両デポ等の整備 56</li> </ul>
セキュリティ	444	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間警備会社による競技会場等の施設警備 64</li> <li>・統合映像監視システム等の整備 378</li> </ul>
オペレーション	83	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技運営 7</li> <li>・競技用備品 2</li> <li>・競技プレゼンテーションの実施 4</li> <li>・ドーピング検査 2</li> <li>・飲食の提供 6</li> <li>・選手村の運営及び維持管理 7</li> <li>・開閉会式 25</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOC/NPCに対する旅費補助 3</li> <li>・大会関係者の宿泊等 3</li> <li>・倉庫等の整備及び会場等への機材の搬出入 6</li> <li>・医療機器及び医薬消耗品等 1</li> <li>・出入国運営 1</li> <li>・清掃業務委託 1</li> <li>・標識の製作、設置等 1</li> <li>・テストイベント実施運営委託 1</li> </ul>
管理・広報	1	
マーケティング	0	
新型コロナウイルス感染症対策関連	103	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応 103</li> </ul>
<b>支出計</b>	5,965	

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

# 大会経費のV5予算比・見通し比

(単位 億円)

	V5					見通し					最終報告							
	組織委員会	その他	東京都		国	支出計	組織委員会	その他	東京都		国	支出計	組織委員会	その他	東京都		国	支出計
会場関係	2,310 (600)	6,970 (600)	5,470 (300)	1,500 (300)	9,280 (1,200)	2,395 (+85) (514) (▲86)	6,245 (▲725) (514) (▲86)	4,748 (▲722) (257) (▲43)	1,497 (▲3) (257) (▲43)	8,640 (▲640) (1,027) (▲173)	1,955 (▲355) (▲439)	6,694 (▲276) (+449)	5,187 (▲283) (+439)	1,506 (+6) (+10)	8,649 (▲631) (+9)	(1,067) (▲139) (+40)		
恒久施設	—	3,460	2,260	1,200	3,460	— (-)	3,500 (+40)	2,260 (-)	1,240 (+40)	3,500 (+40)	— (-) (—)	3,491 (+31) (▲9)	2,252 (▲8) (▲8)	1,240 (+40) (▲0)	3,491 (+31) (▲9)			
仮設等	1,280	2,610	2,410	200	3,890	1,338 (+58)	1,984 (▲626)	1,786 (▲624)	198 (▲2)	3,321 (▲569)	1,043 (▲237) (▲294)	2,343 (▲267) (+359)	2,161 (▲249) (+375)	182 (▲18) (▲16)	3,386 (▲504) (+65)			
エネルギーインフラ	250	470	420	50	720	215 (▲35)	415 (▲55)	380 (▲40)	35 (▲15)	630 (▲90)	162 (▲88) (▲54)	454 (▲16) (+39)	413 (▲7) (+33)	42 (▲8) (+6)	616 (▲104) (▲14)			
テクノロジー	780	430	380	50	1,210	842 (+62)	346 (▲84)	323 (▲57)	24 (▲26)	1,188 (▲22)	750 (▲30) (▲91)	405 (▲25) (+59)	362 (▲18) (+39)	44 (▲6) (+20)	1,156 (▲54) (▲32)			
大会関係	4,900 (300)	1,200 (300)	1,050 (150)	150 (150)	6,100 (600)	4,576 (▲324) (244) (▲56)	834 (▲366) (244) (▲56)	712 (▲338) (122) (▲28)	122 (▲28) (122) (▲28)	5,410 (▲690) (489) (▲111)	4,449 (▲451) (▲177)	787 (▲413) (▲47)	675 (▲375) (▲37)	112 (▲38) (▲11)	5,236 (▲864) (▲175)	(447) (▲153) (▲42)		
輸送	480	370	350	20	850	384 (▲96)	190 (▲180)	168 (▲182)	23 (+3)	575 (▲275)	347 (▲133) (▲37)	170 (▲200) (▲21)	147 (▲203) (▲20)	22 (+2) (▲0)	517 (▲333) (▲57)			
セキュリティ	340	580	550	30	920	268 (▲72)	480 (▲100)	453 (▲97)	28 (▲2)	748 (▲172)	263 (▲77) (▲5)	468 (▲112) (▲12)	444 (▲105) (▲8)	24 (▲6) (▲4)	731 (▲189) (▲17)			
オペレーション	1,680	250	150	100	1,930	1,618 (▲62)	157 (▲93)	89 (▲61)	69 (▲31)	1,775 (▲155)	1,576 (▲104) (▲42)	147 (▲103) (▲10)	83 (▲67) (▲6)	64 (▲36) (▲4)	1,723 (▲207) (▲53)			
管理・広報	840	0	0	0	840	777 (▲63)	3 (+3)	1 (+1)	1 (+1)	780 (▲60)	767 (▲73) (▲10)	2 (+2) (▲1)	1 (+1) (▲0)	1 (+1) (▲0)	769 (▲71) (▲11)			
マーケティング	1,360	0	0	0	1,360	1,332 (▲28)	0 (+0)	0 (+0)	0 (+0)	1,332 (▲28)	1,299 (▲61) (▲33)	0 (+0) (▲0)	0 (+0) (▲0)	0 (+0) (▲0)	1,299 (▲61) (▲33)			
その他	200	0	0	0	200	197 (▲3)	3 (+3)	2 (+2)	2 (+2)	200 (▲0)	196 (▲4) (▲1)	— (-) (▲3)	— (-) (▲2)	— (-) (▲2)	196 (▲4) (▲4)			
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	960	400	560	960	— (-)	480 (▲480)	160 (▲240)	320 (▲240)	480 (▲480)	— (-) (—)	353 (▲607) (▲127)	103 (▲297) (▲57)	251 (▲309) (▲69)	353 (▲607) (▲127)			
緊急対応費	—	100	100	—	100	— (-)	— (▲100)	— (▲100)	— (-)	— (▲100)	— (-) (—)	— (▲100) (—)	— (▲100) (—)	— (-) (—)	— (▲100) (—)			
小計	7,210 (900)	9,230 (900)	7,020 (450)	2,210 (450)	16,440 (1,800)	6,971 (▲239) (758) (▲142)	7,559 (▲1,671) (758) (▲142)	5,620 (▲1,406) (379) (▲71)	1,939 (▲271) (379) (▲71)	14,530 (▲1,910) (1,516) (▲284)	6,404 (▲806) (▲566)	7,834 (▲1,396) (+275)	5,965 (▲1,055) (+345)	1,869 (▲341) (▲70)	14,238 (▲2,202) (▲292)	(757) (▲143) (▲1)		
共同実施事業負担金(安全対策)	—	—	—	—	—	▲628 (▲628)	628 (+628)	628 (+628)	— (-)	— (-)	— (-) (+628)	— (-) (▲628)	— (-) (▲628)	— (-) (—)	— (-) (—)			
支出計	7,210 (900)	9,230 (900)	7,020 (450)	2,210 (450)	16,440 (1,800)	6,343 (▲867) (758) (▲142)	8,187 (▲1,043) (758) (▲142)	6,248 (▲772) (379) (▲71)	1,939 (▲271) (379) (▲71)	14,530 (▲1,910) (1,516) (▲284)	6,404 (▲806) (+61)	7,834 (▲1,396) (▲353)	5,965 (▲1,055) (▲283)	1,869 (▲341) (▲70)	14,238 (▲2,202) (▲292)	(757) (▲143) (▲1)		

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 見通し公表時の組織委員会、東京都、国による三者合意に基づき、「共同実施事業負担金(安全対策)」として628億円を一括で組織委員会の「支出計」から減額して都の「支出計」に計上していたが、工事等が完了し、219億円減の409億円となり、各事業の内訳も確定したため、「仮設等」に301億円、「エネルギーインフラ」に60億円、「テクノロジー」に48億円を反映し、「共同実施事業負担金(安全対策)」の項目を削除。

(注3) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(注4) ( ) は、うちパラリンピック経費分、<>は、V5予算比増減額で、(▲)は、見通し比増減額である。

## V5 予算との比較（大会経費）

（単位：億円）

項目	V5	最終報告	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	9,280	8,649	▲ 631	
恒久施設	3,460	3,491	+31	・新国立競技場整備事業の関連経費の増
仮設等	3,890	3,386	▲ 504	・会場の仮設工事費等の減 ・会場使用料等の減
エネルギーインフラ	720	616	▲ 104	・会場の仮設電源設備費等の減 ・会場の光熱費等の減
テクノロジー	1,210	1,156	▲ 54	・通信インフラの整備費等の減 ・無線通信費の減
<b>大会関係</b>	6,100	5,236	▲ 864	
輸送	850	517	▲ 333	・大会関係者等の輸送費の減 ・車両デポ等の整備費の減
セキュリティ	920	731	▲ 189	・大会運営用倉庫等の競技会場以外の施設警備等の減 ・統合映像監視システム等の整備の減 ・サイバーセキュリティの減
オペレーション	1,930	1,723	▲ 207	・選手村の運営費の減 ・NOC/NPCに対する旅費補助の減 ・飲食提供費の減
管理・広報	840	769	▲ 71	・人件費の減 ・広報関係の各種編集制作費の減
マーケティング	1,360	1,299	▲ 61	・収入連動経費の減 ・チケット払い戻しに係るシステム開発費等の減
その他	200	196	▲ 4	・各種保険の減
新型コロナウイルス感染症対策関連	960	353	▲ 607	・アスリート等を対象とした検査体制等の整備費等の減 ・空港における行動管理・監視や空港・宿泊施設間輸送等の増 ・大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応費の減
緊急対応費	100	—	▲ 100	・東京都に計上した緊急対応費の減
<b>支出計</b>	16,440	14,238	▲ 2,202	

（注1）上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

（注2）計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

## V5 予算との比較（東京都の支出）

（単位：億円）

項目	V5	最終報告	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	5,470	5,187	▲ 283	
恒久施設	2,260	2,252	▲ 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都立新規恒久施設等の整備費の減</li> <li>・新国立競技場整備事業の関連経費の減</li> </ul>
仮設等	2,410	2,161	▲ 249	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の仮設工事費等の減</li> <li>・会場使用料等の減</li> </ul>
エネルギーインフラ	420	413	▲ 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の仮設電源設備費等の減</li> <li>・会場の光熱費等の減</li> </ul>
テクノロジー	380	362	▲ 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信インフラの整備費等の減</li> </ul>
<b>大会関係</b>	1,050	675	▲ 375	
輸送	350	147	▲ 203	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両デポ等の整備費の減</li> </ul>
セキュリティ	550	444	▲ 106	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合映像監視システム等の整備の減</li> </ul>
オペレーション	150	83	▲ 67	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手村の運営費の減</li> <li>・NOC/NPCIに対する旅費補助の減</li> <li>・飲食提供費の減</li> </ul>
管理・広報	0	1	1	
マーケティング	0	0	▲ 0	
その他	0	-	▲ 0	
新型コロナウイルス感染症対策関連	400	103	▲ 297	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応費の減</li> </ul>
緊急対応費	100	-	▲ 100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都に計上した緊急対応費の減</li> </ul>
<b>支出計</b>	<b>7,020</b>	<b>5,965</b>	<b>▲ 1,055</b>	

（注1）上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

（注2）計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

## 見通しとの比較（大会経費）

（単位：億円）

項目	見通し	最終報告	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	8,640	8,649	+9	
恒久施設	3,500	3,491	▲ 9	・都立新規恒久施設等の整備費の減
仮設等	3,321	3,386	+65	・会場の仮設工事費等の増 ・会場使用料等の減
エネルギーインフラ	630	616	▲ 14	・会場の仮設電源設備費等の減 ・会場の光熱費等の減
テクノロジー	1,188	1,156	▲ 32	・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの整備費等の減 ・通信インフラの整備費等の減
<b>大会関係</b>	5,410	5,236	▲ 175	
輸送	575	517	▲ 57	・大会関係者等の輸送費の減 ・車両デポ等の整備費の減
セキュリティ	748	731	▲ 17	・民間警備会社による競技会場等の施設警備の減 ・統合映像監視システム等の整備の減
オペレーション	1,775	1,723	▲ 53	・NOC/NPCに対する旅費補助の減 ・飲食提供費の減
管理・広報	780	769	▲ 11	・人件費の減 ・広報関係の各種編集制作費の減
マーケティング	1,332	1,299	▲ 33	・収入連動経費の減 ・チケット払い戻しに係るシステム開発費等の減
その他	200	196	▲ 4	・各種保険の減
新型コロナウイルス感染症対策関連	480	353	▲ 127	・アスリート等を対象とした検査体制等の整備費等の減 ・大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応費の減
<b>支出計</b>	14,530	14,238	▲ 292	

（注1）上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

（注2）計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。



## 見通しとの比較（東京都の支出）

（単位：億円）

項目	見通し	最終報告	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	4,748	5,187	+439	
恒久施設	2,260	2,252	▲ 8	・都立新規恒久施設等の整備費の減 ・新国立競技場整備事業の関連経費の減
仮設等	1,786	2,161	+375	・会場の仮設工事費等の増
エネルギーインフラ	380	413	+33	・会場の仮設電源設備費等の増
テクノロジー	323	362	+39	・映像用回線ルートの整備費等の増 ・通信インフラの整備費等の増
<b>大会関係</b>	712	675	▲ 37	
輸送	168	147	▲ 20	・車両デポ等の整備費の減
セキュリティ	453	444	▲ 8	・民間警備会社による競技会場等の施設警備の減
オペレーション	89	83	▲ 6	・飲食提供費の減
管理・広報	1	1	▲ 0	
マーケティング	0	0	0	
その他	2	-	▲ 2	
新型コロナウイルス感染症対策関連	160	103	▲ 57	・大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応費の減
共同実施事業負担金（安全対策）	628	-	▲ 628	・観客等に関する仮設整備の組織委員会に係る経費（「仮設等」301億円、「エネルギーインフラ」60億円、「テクノロジー」48億円、計409億円）を東京都の支出の各項目に計上
<b>支出計</b>	6,248	5,965	▲ 283	

（注1）上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

（注2）計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

## 参考 組織委員会の収支

(単位 億円)

項目	収入
IOC負担金	868
TOPスポンサー	569
国内スポンサー	3,761
ライセンスング	144
チケット売上	4
その他	559
延期に伴う保険金	500
<b>収入計</b>	<b>6,404</b>

項目	支出
会場関係	1,955
仮設等	1,043
エネルギーインフラ	162
テクノロジー	750
大会関係	4,449
輸送	347
セキュリティ	263
オペレーション	1,576
管理・広報	767
マーケティング	1,299
その他	196
<b>支出計</b>	<b>6,404</b>

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 見通し公表時の組織委員会、東京都、国による三者合意に基づき、「共同実施事業負担金(安全対策)」として628億円を一括で組織委員会の「支出計」から減額して都の「支出計」に計上していたが、工事等が完了し、219億円減の409億円となり、各事業の内訳も確定したため、「仮設等」に301億円、「エネルギーインフラ」に60億円、「テクノロジー」に48億円を反映し、「共同実施事業負担金(安全対策)」の項目を削除。

(注3) 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

## 参考 組織委員会の支出の主な内容

(単位：億円)

項目	支出	主な内容
<b>会場関係</b>	1,955	
仮設等	1,043	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場における仮設オーバーレイの施工・撤去 872</li> <li>会場の使用料等 159</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会ルックの製作、実装等 13</li> </ul>
エネルギーインフラ	162	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場における仮設電源設備の整備・撤去 108</li> <li>会場の光熱費等 43</li> </ul>
テクノロジー	750	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像用回線ルートの整備・撤去 81</li> <li>通信インフラの整備・撤去 102</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの整備 294</li> <li>ITセキュリティ 40</li> </ul>
<b>大会関係</b>	4,449	
輸送	347	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会関係者輸送用バスの車両調達・運用及び運行管理 133</li> <li>大会関係者輸送用フリート（乗用車）の車両調達・運用及び運行管理 70</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送支援スタッフ等 100</li> </ul>
セキュリティ	263	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間警備会社による競技会場等の施設警備 222</li> <li>統合映像監視システム等の整備 5</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>警備資機材 21</li> </ul>
オペレーション	1,576	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場運営 161</li> <li>競技運営 85</li> <li>競技用備品 95</li> <li>競技プレゼンテーションの実施 46</li> <li>ドーピング検査 31</li> <li>飲食の提供 133</li> <li>選手村の運営及び維持管理 150</li> <li>聖火リレー 98</li> <li>開閉会式 117</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>NOC/NPCに対する旅費補助 29</li> <li>大会関係者の宿泊等 127</li> <li>倉庫等の整備及び会場等への機材の搬出入 99</li> <li>医療機器及び医薬消耗品等 14</li> <li>出入国運営 12</li> <li>清掃業務委託 13</li> <li>標識の製作、設置等 20</li> <li>テストイベント実施運営委託 41</li> </ul>
管理・広報	767	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費 327</li> <li>オフィス賃料 117</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動 90</li> </ul>
マーケティング	1,299	<ul style="list-style-type: none"> <li>収入運動経費（ロイヤルティ等）1,077</li> <li>チケット販売システムの開発及び運用 90</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>チケットオペレーションの実施 5</li> </ul>
その他	196	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種保険 47</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>清算対応144</li> </ul>
<b>支出計</b>	6,404	

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

## 参考 組織委員会の収支のV5予算比・見通し比

### 収 入

項 目	V5	見通し	最終報告
IOC負担金	850	865 <+15>	868 <+18> 《+3》
TOPスポンサー	560	561 <+1>	569 <+9> 《+8》
国内スポンサー	3,500	3,506 <+6>	3,761 <+261> 《+255》
ライセンス	140	144 <+4>	144 <+4> 《-》
チケット売上	900	4 <▲896>	4 <▲896> 《-》
その他	350	471 <+121>	559 <+209> 《+88》
延期に伴う保険金	-	- <->	500 <+500> 《+500》
増収見込	760	792 <+32>	- <▲760> 《▲792》
<b>小 計</b>	<b>7,060</b>	<b>6,343 &lt;▲717&gt;</b>	<b>6,404 &lt;▲656&gt; 《+61》</b>
収支調整額	150	- <▲150>	- <▲150> 《-》
<b>収 入 計</b>	<b>7,210</b>	<b>6,343 &lt;▲867&gt;</b>	<b>6,404 &lt;▲806&gt; 《+61》</b>

### 支 出

(単位 億円)

項 目	V5	見通し	最終報告
会場関係	2,310	2,395 <+85>	1,955 <▲355> 《▲439》
仮設等	1,280	1,338 <+58>	1,043 <▲237> 《▲294》
エネルギーインフラ	250	215 <▲35>	162 <▲88> 《▲54》
テクノロジー	780	842 <+62>	750 <▲30> 《▲91》
大会関係	4,900	4,576 <▲324>	4,449 <▲451> 《▲127》
輸送	480	384 <▲96>	347 <▲133> 《▲37》
セキュリティ	340	268 <▲72>	263 <▲77> 《▲5》
オペレーション	1,680	1,618 <▲62>	1,576 <▲104> 《▲42》
管理・広報	840	777 <▲63>	767 <▲73> 《▲10》
マーケティング	1,360	1,332 <▲28>	1,299 <▲61> 《▲33》
その他	200	197 <▲3>	196 <▲4> 《▲1》
<b>小 計</b>	<b>7,210</b>	<b>6,971 &lt;▲239&gt;</b>	<b>6,404 &lt;▲806&gt; 《▲566》</b>
共同実施事業負担金(安全対策)	-	▲628 <▲628>	- <-> 《+628》
<b>支 出 計</b>	<b>7,210</b>	<b>6,343 &lt;▲867&gt;</b>	<b>6,404 &lt;▲806&gt; 《+61》</b>

(注1)上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2)V5予算及び見通し公表時の「増収見込」に相当する金額は、最終報告では794億円になるが、金額が確定したため、収入から「増収見込」の項目を削除し、内容に応じて、「IOC負担金」、「国内スポンサー」、「その他」、「延期に伴う保険金」の各項目に計上。

(注3)見通し公表時の組織委員会、東京都、国による三者合意に基づき、「共同実施事業負担金(安全対策)」として628億円を一括で組織委員会の「支出計」から減額して都の「支出計」に計上していたが、工事等が完了し、219億円減の409億円となり、各事業の内訳も確定したため、「仮設等」に301億円、「エネルギーインフラ」に60億円、「テクノロジー」に48億円を反映し、「共同実施事業負担金(安全対策)」の項目を削除。

(注4)計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(注5)<>は、V5予算比増減額、《》は、見通し比増減額である。

参考 V5 予算との比較（組織委員会の支出）

（単位：億円）

項目	V5	最終報告	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	2,310	1,955	▲ 355	
仮設等	1,280	1,043	▲ 237	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の仮設工事費等の減</li> <li>・会場使用料等の減</li> </ul>
エネルギーインフラ	250	162	▲ 88	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の仮設電源設備費等の減</li> <li>・会場の光熱費等の減</li> </ul>
テクノロジー	780	750	▲ 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像用回線ルートの整備費等の減</li> <li>・通信インフラの整備費等の減</li> </ul>
<b>大会関係</b>	4,900	4,449	▲ 451	
輸送	480	347	▲ 133	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会関係者等の輸送費の減</li> <li>・車両デポ等の整備費の減</li> </ul>
セキュリティ	340	263	▲ 77	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会運営用倉庫等の競技会場以外の施設警備等の減</li> <li>・警備資機材の減</li> </ul>
オペレーション	1,680	1,576	▲ 104	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手村の運営費の減</li> <li>・NOG/NPGに対する旅費補助の減</li> <li>・飲食提供費の減</li> </ul>
管理・広報	840	767	▲ 73	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費の減</li> <li>・広報関係の各種編集制作費の減</li> </ul>
マーケティング	1,360	1,299	▲ 61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入連動経費の減</li> <li>・チケット払い戻しに係るシステム開発費等の減</li> </ul>
その他	200	196	▲ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種保険の減</li> </ul>
<b>支出計</b>	<b>7,210</b>	<b>6,404</b>	<b>▲ 806</b>	

（注1）上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

（注2）計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

参考 見通しとの比較（組織委員会の支出）

（単位：億円）

項目	見通し	最終報告	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	2,395	1,955	▲ 439	
仮設等	1,338	1,043	▲ 294	・会場の仮設工事費等の減 ・会場使用料等の減
エネルギーインフラ	215	162	▲ 54	・会場の仮設電源設備費等の減 ・会場の光熱費等の減
テクノロジー	842	750	▲ 91	・映像用回線ルートの整備費等の減 ・通信インフラの整備費等の減 ・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの整備費等の減
<b>大会関係</b>	4,576	4,449	▲ 127	
輸送	384	347	▲ 37	・大会関係者等の輸送費の減 ・車両デポ等の整備費の減
セキュリティ	268	263	▲ 5	・民間警備会社による競技会場等の施設警備の減 ・サイバーセキュリティの減
オペレーション	1,618	1,576	▲ 42	・選手村の運営費の減 ・NOC/NPCに対する旅費補助の減 ・飲食提供費の減
管理・広報	777	767	▲ 10	・人件費の減 ・広報関係の各種編集制作費の減
マーケティング	1,332	1,299	▲ 33	・収入連動経費の減 ・チケット払い戻しに係るシステム開発費等の減
その他	197	196	▲ 1	・各種保険の減
<b>小 計</b>	6,971	6,404	▲ 566	
共同実施事業負担金（安全対策）	▲ 628	—	628	・観客等に関係する仮設整備の組織委員会に係る経費（「仮設等」301億円、「エネルギーインフラ」60億円、「テクノロジー」48億円、計409億円）を東京都の支出の各項目に計上
<b>支 出 計</b>	6,343	6,404	61	

（注1）上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

（注2）計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

## 参考 新型コロナウイルス感染症対策関連

### 1. アスリート等を対象とした検査体制等の整備等 148億円

- ① 検査センター等の整備
- ② 検体分析委託等
- ③ 選手等に接触する可能性のある大会関係者のPCR検査業務委託
- ④ 検査管理システム等の構築等
- ⑤ 感染症対策センターの設置等
- ⑥ 選手村総合診療所発熱外来の整備等
- ⑦ 空港における行動管理・監視や空港・宿泊施設間輸送等

### 2. 大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応 205億円

- ① 競技運営・選手村におけるコロナ対策
- ② 飲食提供場所におけるコロナ対策
- ③ 選手等用バスにおけるコロナ対策等
- ④ リモート取材のための環境整備
- ⑤ バス・フリートの誘導業務委託・消毒業務委託等
- ⑥ 大会関係者・観客等を対象としたコロナ対策等
- ⑦ 宿泊施設におけるコロナ対策
- ⑧ NOC/NPC防疫対応等
- ⑨ コロナ対策に関する表示等
- ⑩ コロナ対策物品等

計 353億円

## 参考 共同実施事業負担金（安全対策）

共同実施事業負担金（安全対策）は、2021年12月の組織委員会、東京都、国の三者合意に基づき、組織委員会経費の共同実施事業に係るものについて、安全・安心な大会の円滑な実施の観点から、V5予算の共同実施事業負担金の範囲内で都が対応することとしたものであり、大部分を無観客開催としたことで影響を受けた仮設整備に係る経費を対象に支出する。

- 東京大会は、緊急事態宣言の発出を受けて人流を抑制するとともに、感染拡大防止等に向けたより厳しい措置として大部分を無観客としたため、会場での観戦は実現しなかった。
- 観客席等の仮設整備は、大会を安全・安心に開催するために無観客となった影響を受けたものであることから、東京都が「共同実施事業負担金（安全対策）」として、V5予算の範囲内でその経費を支出することとした。
- 見通しの段階では精査中であったが、今回、決算数字が固まったことから各項目において計上した。

2021年12月見通し	2022年6月最終報告	差 引
628億円	409億円	△219億円
内訳	仮設等	301億円
	エネルギーインフラ	60億円
	テクノロジー	48億円





<参考資料1>  
第50回組織委員会理事会  
(令和4年6月21日開催)  
資料(抜粋)

# TOKYO 2020

東京2020 第50回理事会 資料

## 決議事項

---



# 2021年度事業報告及び計算書類等の承認 について

2022年6月21日

## 2021年度 事業報告書の概要(案)

- 東京2020大会は、新型コロナウイルスの感染拡大という人類が経験したことのない逆境の中、大会の開催の1年延期、多くの会場で無観客となるなど、前例のない大会となったが、専門的な知見に基づく徹底した感染防止対策を関係機関と連携して実施し、安全・安心に運営を行うことができた。
- この結果、感染拡大を防止し、クラスター等を生じさせなかった大会運営に対しては、世界のアスリートや大会関係者から、東京・日本だからこそ開催することができたとの高い評価を受けた。
- また、本大会は、原点に立ち返った簡素で持続可能なオリンピック・パラリンピック競技大会の姿を示すものになった。
- 平和、多様性、ジェンダー平等、持続可能性といった人類の未来へのメッセージを届けるというオリンピック・パラリンピック競技大会の持つ変わらぬ価値を引き継ぎ、大会にとって真に必要なものは何かを見出し、東京2020モデルとして大会の新たな姿も示すことができた。
- 選手村を除く全会場の仮設・オーバーレイ撤去や復旧工事、各種契約の適切な完了などを計画的かつ迅速、的確に遂行した。



柱	主な計画事業
1 安全・安心を最優先とする大会運営と大会後の取組	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関やIOC/IPC、IF等全てのステークホルダーと連携し、具体策を講じた結果、保健所からクラスターに認定された事例はなく、大会関係者等から市中に感染が広がった事例の報告もなし</li> <li>メイン・オペレーション・センター(MOC)内に「感染症対策センター」を設置し、大会に係る感染症対策を一元的に推進。アスリート等に対する検査体制を整備するとともに、迅速な医療・療養の機会を提供</li> </ul> <p>(2) ジェンダー平等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務総長直轄の「ジェンダー平等推進チーム」を中心に、これまでの取組を「見える化」して発信。大会後には成果と課題を「東京2020大会の「多様性と調和」におけるジェンダー平等報告書」として取りまとめ公表</li> </ul> <p>(3) 聖火リレーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿道における密集防止対策などの新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施し、安全最優先の聖火リレーを実施。公道での聖火リレーが実施できないケースにおいても、聖火ランナーがセレブレーション会場内で聖火をつなぐ「点火セレモニー」などの代替措置を実施</li> </ul> <p>(4) セレモニーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開会式・閉会式は公募キャストも含め多様な人々が参画し、史上初めて選手・審判・コーチの宣誓を男女同数で実施するなど、多様性と調和、共生等のメッセージを発信</li> <li>聖火台には、大会史上初めて燃料に水素を活用。開閉会式で使用した水素には、福島県浪江町の施設で製造され</li> </ul>

	<p>たものを使用</p> <p>(5) 安全・安心な競技環境の構築と会場サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アスリートに陽性者が発生した際には、当該陽性者を隔離するとともに、迅速な濃厚接触候補者の特定、追加検査や必要な追加対策を十分に講じた上、競技及びトレーニングへ参加させることで、選手のパフォーマンスを維持し、出場機会を確保</li> <li>大会期間中は様々な気象条件下での開催となったが、臨機応変に競技日程変更を実施</li> <li>検査員等によるドーピング検査の実施等を通じて、円滑なアンチドーピング活動を展開</li> <li>選手村において、感染症対策を徹底しアスリートに安全・安心で快適なサービスを提供</li> <li>栄養面に配慮した食事や被災地食材を活用したメニューの提供等、ステークホルダーごとに適切に飲食を提供</li> <li>会場医務室や選手村総合診療所等での診療、大会指定病院等への患者搬送など、適切に医療サービスを提供</li> <li>各ステークホルダー向けに、施設設備、飲料供給、予防・救護運営、情報発信の各観点から暑さ対策を実施</li> </ul> <p>(6) ボランティアの活躍に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役割や会場ごとに必要な知識を習得するための各種研修やユニフォームの配布を実施</li> <li>大会期間中のボランティアの活躍に対し、国内外から絶賛する声が寄せられ、各国選手等からもボランティアのおもてなしに感謝や称賛の声が続出</li> <li>大会後にボランティアに対して任意のアンケートを実施し、「大会後も、スポーツボランティアの活動を続けていきたいか」の問いに対し、8割以上が「はい」と回答</li> </ul> <p>(7) アクセシビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会場内及び周辺のアクセシビリティに関する設備を中心に対応状況の最終確認、関連FAへの課題提起や意識づけなど、ハード・ソフト両面におけるアクセシブルな環境整備を推進</li> </ul> <p>(8) パラリンピック競技大会の成功に向けた準備・実行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピック特有のニーズに適切に対応できるよう習熟度を向上</li> <li>教育プログラム等を通して「心のバリアフリー」の拡充、アクセシビリティの強化の必要性や意義を伝えることにより、共生社会の深化を目指していくことを継続して発信</li> <li>学校連携観戦により、パラリンピックの64のセッションを約15,700名の小中高生が観戦</li> <li>東京2020大会のパラリンピックの計画策定や準備活動、運営実績などに関する知識継承を実施</li> </ul> <p>(9) 国際的な連携強化、NOC/NPCへのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピックファミリーへのサービス提供、要人プログラムやプロトコル・サービスを推進</li> <li>将来大会の組織委員会等に対して知識・情報を継承するため学習機会を提供</li> <li>NOC/NPCに対し、入国に関する情報提供や大会期間中の活動などのサポートを実施</li> </ul> <p>(10) 世界に誇る安全及びセキュリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「警備ガイドライン」に基づき、会場の特性等を踏まえた各競技会場等の警備計画を策定、実施</li> <li>警備会社が参加する警備JVとの基本契約に基づき、会場毎の警備業務委託契約を締結</li> <li>顔認証システム等の先進技術の活用、各種研修やe-learning等を通じた警備員に対する教育・訓練を実施</li> <li>大会警備本部や会場警備本部を稼働させ、警備体制を確立することで、大会の安全を確保</li> <li>テロ等を想定した各種訓練の実施により、対応力の強化を図り、万全な初動対応体制を確立</li> </ul>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の大会関係者が必要な時期に入学して活動ができるよう国と調整、海外メディアが滞在するホテルに出入管理を行う民間警備員を配置して厳格な行動管理を実施</li> <li>C I R T 2020（サイバーインシデント対処チーム）の運用を行い、大会期間中に約4億5,000万回の不正通信をブロック</li> </ul> <p><b>(11) 大会運営の効率化に向けたテクノロジーの導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策としてプレス関係者のインタビューエリアでの三密防止のための予約システムなど、各種情報システムを構築・運用</li> <li>各種通信環境を全会場に構築し、大会時に安定した通信サービスを提供</li> <li>大会公式ウェブサイトやモバイルアプリなどの観客向け大会情報システムを構築し、大会史上最大のアクセスを記録する中でも安定した運用を実現</li> <li>テクノロジー全般の安定運用のためテクノロジー・オペレーション・センターを運営</li> <li>大会後に円滑に後処理業務を実施できるよう必要なテクノロジー環境に移行</li> </ul> <p><b>(12) 安全・安心かつ、効率的で信頼性の高い大会輸送及び宿泊の提供等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送連絡調整会議及び交通輸送技術検討会に加え、政府が設置する2020交通輸送円滑化推進会議を軸とした体制を構築し、交通及び輸送に関する施策を推進</li> <li>バス・フリードによる輸送サービスの提供、交通マネジメントの展開</li> <li>大会関係者の宿泊の提供、大会運営物流の構築及び提供</li> <li>入国オペレーションでは、一連の手続きの円滑化を図り、速やかに選手村等の目的地に輸送するオペレーションを構築</li> </ul> <p><b>(13) 大会閉会後の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会後を視野に入れて計画を立て、資産物品の会場からの撤去などについて進行管理を実施。「大会後の業務終了に向けた管理委員会」を立ち上げ、各F Aの業務終了に向けた取組を適切に確認</li> </ul>
<p><b>2 会場及び施設整備の着実な実施と速やかな撤去解体等</b></p>	<p><b>(1) 会場の整備調整</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>43競技会場、I B C / M P C、選手村、練習会場などの整備を着実に進め、期限までにすべて完成させ、オリンピックからパラリンピックへの転換等を限られた時間内で安全かつ迅速に実施</li> <li>大会後、選手村を除く全会場の撤去・復旧工事を年度内に完了させ、施設所有者等に返却</li> <li>購入した仮設オーバーレイ物品について、都や都内自治体等と連携し後利用先を確保したほか、後利用先が確保できない物品については、マテリアルリサイクル等の再生利用を実施</li> </ul> <p><b>(2) 大会需要を踏まえたエネルギーインフラの整備調整</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー・オペレーション・センターを設置し、全会場にエネルギープロジェクトマネージャーを配置して設備の点検・監視を着実に実施</li> </ul>
<p><b>3 大会開催の機運醸成と大会の記録・記憶の承継</b></p>	<p><b>(1) 大会ビジョンの具現化の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会の機運醸成やレガシー創出に向けた取組を推進したほか、これまでの成果と今後継承されるレガシーをとりまとめた「東京2020アクション&amp;レガシーレポート」を作成し、公表</li> <li>「東京2020参画プログラム」について、大会終了時点で主体登録数は約2,500件、認証事業件数は約16万件となり、累計約1億7,000万人の参画を得た</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>「東京2020復興のモニュメント」事業、「東京2020 NIPPON フェスティバル」の実施</li> <li>パートナー各社の協力の下、VR、ロボット、5Gなどの最新技術を導入、SNSにより全国から投稿された応援動画を選手に届ける取組等も実施</li> <li>排出CO<sub>2</sub>をゼロ以下にする「カーボンマイナス大会」の実現をはじめとする持続可能性に配慮した各種施策を推進し、それらの成果と大会から得た学び・気づきをまとめた「持続可能性大会後報告書」を12月に公表</li> <li>大会資料の継承・保管に向けた準備、オフィシャルレポートの作成</li> </ul> <p><b>(2) マーケティングを活用したオリンピック・パラリンピックムーブメントの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般販売分の販売済みチケット約541万枚の払い戻しを実施。有観客セッションでは、約5.9万人が観戦し、うち学校連携観戦においては、約2万人の子どもたちに、会場での観戦の機会を提供</li> <li>東京2020大会ブランドの展開、大会ブランド管理の徹底</li> <li>スポンサーシッププログラムの推進、ライセンスプログラムの展開</li> </ul> <p><b>(3) 積極的広報とエンゲージメントの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策を含む安全・安心な大会運営について継続的に発信</li> <li>大会用のウェブサイト、モバイルアプリ、SNSアカウントでは7か国語で幅広く世界に発信</li> <li>オリンピックの大会公式映画の制作、I P C とNHKによるパラリンピックの大会公式映画制作の支援</li> </ul>
<p><b>4 オールジャパンの連携と事務局体制の強化</b></p>	<p><b>(1) オールジャパンの協体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な大会に向けて、都、国、関係自治体等と緊密に連携</li> <li>都や国、スポーツ団体、被災3県と連携し様々な取組を実施、メインプレスセンターには「復興ブース」を設置</li> <li>大学連携の取組として「情報保障プログラム」を実施。大会終了後には、810校の連携大学等へのレガシーとするため、約7年間の大学連携の活動内容をまとめた報告書を作成</li> </ul> <p><b>(2) 効率的かつ大会実務に即した執行体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事会において新型コロナウイルス感染症対策や観客対応を報告・意見交換</li> <li>大会運営時の情報共有や重要事案に係る方針の取りまとめを行うM O C を運営</li> <li>各会場においてパニキュゼネラルマネージャーを中心とした連携体制を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に要する人員の体制を整備</li> <li>大会終了後も引き続き業務を着実に処理できるよう、効率的な組織体制を構築</li> <li>障がい者やジェンダー平等などに関する理解促進のための研修を行い、多様な人材が活躍できる職場環境を整備</li> <li>全職員を対象とする研修等を通じたガバナンスの推進</li> </ul>
<p><b>5 大会を支える確実な財務運営</b></p>	<p><b>(1) 大会成功へ向けた計画的な財務運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種事業の見直しやリソースの他分野への有効活用等により経費の抑制を図るなど、的確な予算執行管理を実施</li> <li>12月に、組織委員会予算及び都・国によるその他の経費からなる、大会経費の現時点における見通しを発表</li> <li>大会終了後、速やかに財産処分を実施</li> </ul> <p><b>(2) 最適調達の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会後費用も含めた総費用の低減及び適正な調達手続の実施</li> </ul>

## 2021 年度決算の概要

**※決算については、今後開催予定の評議員会の承認後に最終確定となります。**

### ポイント

- ・法人の収支を示す当期一般正味財産増減額は 2,084 億円のマイナス。
- ・一般正味財産の当期末残高は、160 億円。

### 計算書類の概要

(金額単位は億円。四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

#### 1. 貸借対照表(B/S)

資産の部	金額	内容
流動資産	599	現金預金(332)、未収入金(173)、未収消費税(93)等
固定資産	5	基本財産(3)、什器備品等固定資産(2)
資産合計	604	(前年度比4,407億円減少)
負債の部		
流動負債	441	未払金(432)、未払費用(7)等
固定負債	0	
負債合計	441	(前年度比1,321億円減少)
正味財産の部		
指定正味財産	3	寄付金(3)
一般正味財産	160	
正味財産合計	163	(前年度比3,086億円減少)

- ・ 資産合計 604 億円と前年度比 4,407 億円減少。
- ・ 負債及び正味財産の部は、負債 441 億円、正味財産 163 億円をあわせ、604 億円。

#### 2. 正味財産増減計算書(P/L)

(金額:億円)

	金額	内容	
一般正味財産の部	経常収益	4,587	マーケティング収益(418)、受取負担金(3,984)、受取寄付金(33)等
	経常費用	6,573	委託費(2,909)、減価償却(2,412)、賃料(258)等
	経常増減額	△1,986	
	経常外増減額	△99	受取負担金(295)、固定資産処分損(▲391)等
	当期増減額	△2,084	
	期首残高	2,244	
	期末残高	160	
指定正味財産残高	3		
正味財産期末残高	163		

- ・ 経常収益は 4,587 億円(前年度比 3,077 億円増加)、経常費用は 6,573 億円(同 5,209 億円増加)。
- ・ 一般正味財産の減少額(=赤字額)は、2,084 億円。(通期では、160 億円プラス。)

以上



# 大会経費について

2022年6月21日

# 組織委員会の収支及び大会経費の最終報告について

東京2020組織委員会は、東京2020組織委員会の収支と大会経費の最終報告を取りまとめました。

組織委員会の収支は、これまでの増収努力や不断の経費の見直しなどにより、6404億円の収支均衡となっています。

主な収入は、IOC負担金868億円、TOPスポンサー569億円、国内スポンサー3761億円、大会の延期に伴う保険金500億円です。支出は、仮設等、テクノロジーなどの「会場関係」が1955億円、競技運営・会場運営をはじめとするオペレーション、輸送、セキュリティなどの「大会関係」が4449億円となっています。

また、国と東京都が負担するその他の経費も含めた大会経費の総額は、1兆4238億円（うちパラリンピック経費は1514億円）となりました。その内訳は、恒久施設、仮設等、テクノロジーなどの「会場関係」が8649億円、競技運営・会場運営をはじめとするオペレーション、輸送、セキュリティなどの「大会関係」が5236億円、「新型コロナウイルス感染症対策関連」が353億円となっています。

大会経費1兆4238億円は、2020年12月に公表した大会経費V5（バージョン5）の1兆6440億円から2202億円の減額となっており、2021年12月に公表した大会経費の見通し1兆4530億円からも292億円の減額となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大によるオリンピック・パラリンピック競技大会史上初となる開催延期に加え、多くの会場が無観客開催やコロナ対策の徹底など、東京2020大会は財務面においても厳しい状況下での開催となりました。

しかし、延期やコロナ対策などの予期せぬ追加費用が生じた上でもなお、IOC、IPCの協力も得た効率化・簡素化等の徹底した取組によって、2016年12月に初めて大会経費の全体像を明らかにしたV1（バージョン1）の1兆5000億円（予備費を除く）を762億円下回る額で、大会を実施することが出来ました。

## 組織委員会の収支

(単位 億円)

項目	収入
IOC負担金	868
TOPスポンサー	569
国内スポンサー	3,761
ライセンスング	144
チケット売上	4
その他	559
延期に伴う保険金	500
<b>収入計</b>	<b>6,404</b>

項目	支出
会場関係	1,955
仮設等	1,043
エネルギーインフラ	162
テクノロジー	750
大会関係	4,449
輸送	347
セキュリティ	263
オペレーション	1,576
管理・広報	767
マーケティング	1,299
その他	196
<b>支出計</b>	<b>6,404</b>

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 見通し公表時の組織委員会、東京都、国による三者合意に基づき、「共同実施事業負担金(安全対策)」として628億円を一括で組織委員会の「支出計」から減額して都の「支出計」に計上していたが、工事等が完了し、219億円減の409億円となり、各事業の内訳も確定したため、「仮設等」に301億円、「エネルギーインフラ」に60億円、「テクノロジー」に48億円を反映し、「共同実施事業負担金(安全対策)」の項目を削除。

(注3) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。



# 大会経費

(単位 億円)

	組織委員会	その他	東京都		支出計
			東京都	国	
会場関係	1,955 (534)	6,694 (534)	5,187 (267)	1,506 (267)	8,649 (1,067)
恒久施設	—	3,491	2,252	1,240	3,491
仮設等	1,043 (363)	2,343 (363)	2,161 (182)	182 (182)	3,386 (726)
エネルギーインフラ	162 (83)	454 (83)	413 (42)	42 (42)	616 (167)
テクノロジー	750 (87)	405 (87)	362 (44)	44 (44)	1,156 (175)
大会関係	4,449 (223)	787 (223)	675 (112)	112 (112)	5,236 (447)
輸送	347 (45)	170 (45)	147 (22)	22 (22)	517 (90)
セキュリティ	263 (48)	468 (48)	444 (24)	24 (24)	731 (95)
オペレーション	1,576 (129)	147 (129)	83 (64)	64 (64)	1,723 (258)
管理・広報	767 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	769 (4)
マーケティング	1,299 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1,299 (0)
その他	196 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	196 (—)
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	353	103	251	353
支出計	6,404 (757)	7,834 (757)	5,965 (379)	1,869 (379)	14,238 (1,514)

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 見直し公表時の組織委員会、東京都、国による三者合意に基づき、「共同実施事業負担金(安全対策)」として628億円を一括で組織委員会の「支出計」から減額して都の「支出計」に計上していたが、工事等が完了し、219億円減の409億円となり、各事業の内訳も確定したため、「仮設等」に301億円、「エネルギーインフラ」に60億円、「テクノロジー」に48億円を反映し、「共同実施事業負担金(安全対策)」の項目を削除。

(注3) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(注4) ( )は、うちパラリンピック経費分である。

<参考> 組織委員会の支出の主な内容

(単位：億円)

項目	支出	主な内容
<b>会場関係</b>	1,955	
仮設等	1,043	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場における仮設オーバーレイの施工・撤去 872</li> <li>会場の使用料等 159</li> </ul>
エネルギーインフラ	162	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場における仮設電源設備の整備・撤去 108</li> <li>会場の光熱費等 43</li> </ul>
テクノロジー	750	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像用回線ルートの整備・撤去 81</li> <li>通信インフラの整備・撤去 102</li> </ul>
<b>大会関係</b>	4,449	
輸送	347	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会関係者輸送用バスの車両調達・運用及び運行管理 133</li> <li>大会関係者輸送用フリート（乗用車）の車両調達・運用及び運行管理 70</li> </ul>
セキュリティ	263	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間警備会社による競技会場等の施設警備 222</li> <li>統合映像監視システム等の整備 5</li> </ul>
オペレーション	1,576	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場運営 161</li> <li>競技運営 85</li> <li>競技用備品 95</li> <li>競技プレゼンテーションの実施 46</li> <li>ドーピング検査 31</li> <li>飲食の提供 133</li> <li>選手村の運営及び維持管理 150</li> <li>聖火リレー 98</li> <li>閉閉会式 117</li> </ul>
管理・広報	767	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費 327</li> <li>オフィス賃料 117</li> </ul>
マーケティング	1,299	<ul style="list-style-type: none"> <li>収入連動経費（ロイヤルティ等）1,077</li> <li>チケット販売システムの開発及び運用 90</li> </ul>
その他	196	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種保険 47</li> </ul>
<b>支出計</b>	6,404	

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

<参考> 大会経費の主な内容

(単位：億円)

項目	支出	主な内容
<b>会場関係</b>	8,649	
恒久施設	3,491	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立競技場の整備 1,670</li> <li>・東京アクアティクスセンター、海の森水上競技場、有明アリーナ、カヌー・スラロームセンター、大井ホッケー競技場等の整備 1,822</li> </ul>
仮設等	3,386	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場における仮設オーバーレイの施工・撤去 2,827</li> <li>・会場の使用料等 522</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会ルックの製作、実装等 37</li> </ul>
エネルギーインフラ	616	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場における仮設電源設備の整備・撤去 531</li> <li>・会場の光熱費等 50</li> </ul>
テクノロジー	1,156	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像用回線ルートの整備・撤去 138</li> <li>・通信インフラの整備・撤去 357</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの整備 319</li> <li>・ITセキュリティ 40</li> </ul>
<b>大会関係</b>	5,236	
輸送	517	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会関係者輸送用バスの車両調達・運用及び運行管理 156</li> <li>・大会関係者輸送用フリート（乗用車）の車両調達・運用及び運行管理 118</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送支援スタッフ等 102</li> <li>・車両デポ等の整備 61</li> </ul>
セキュリティ	731	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間警備会社による競技会場等の施設警備 309</li> <li>・統合映像監視システム等の整備 383</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警備資機材 21</li> </ul>
オペレーション	1,723	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場運営 161</li> <li>・競技運営 99</li> <li>・競技用備品 99</li> <li>・競技プレゼンテーションの実施 54</li> <li>・ドーピング検査 35</li> <li>・飲食の提供 145</li> <li>・選手村の運営及び維持管理 164</li> <li>・聖火リレー 98</li> <li>・開閉会式 153</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOC/NPGIに対する旅費補助 34</li> <li>・大会関係者の宿泊等 132</li> <li>・倉庫等の整備及び会場等への機材の搬出入 111</li> <li>・医療機器及び医薬消耗品等 15</li> <li>・出入国運営 13</li> <li>・清掃業務委託 15</li> <li>・標識の製作、設置等 23</li> <li>・テストイベント実施運営委託 43</li> </ul>
管理・広報	769	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 327</li> <li>・オフィス賃料 117</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動 91</li> </ul>
マーケティング	1,299	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入連動経費（ロイヤルティ等）1,077</li> <li>・チケット販売システムの開発及び運用 90</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チケットオペレーションの実施 5</li> </ul>
その他	196	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種保険 47</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清算対応144</li> </ul>
新型コロナウイルス感染症対策関連	353	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート等を対象とした検査体制等の整備等 148</li> <li>・大会関係者等を対象とした検温・消毒等の感染防止のための対応 205</li> </ul>
<b>支出計</b>	14,238	

(注1) 上記は、2022年度以降の経費等の概算額を含む。

(注2) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。



# 東京2020組織委員会の解散に向けた各種事項について

2022年6月21日

## 組織委員会の解散について

- 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、関係法令や定款に基づき、残務を結了させたため、2022年6月30日をもって解散する。

### 1 解散にかかる経緯

- 組織委員会は、大会の準備及び運営に関する事業を行い、もって大会の成功に期することを目的に設立された公益財団法人である。
- 大会後は、各会場の原状回復工事や所有者への返還、契約に基づく支払い等を着実に進めてきた。
- 定款第43条の解散事由に「競技大会終了後の残務の結了によって解散する。」と定められており、今般、残務結了の目途がたったことから解散する。

### 2 解散日

2022年6月30日

(参考) 定款第43条(解散)

当法人は、基本財産の滅失による当法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由のほか、競技大会終了後の残務の結了によって解散する。

- 解散の事由の発生を明確化するため、存続期間を定めた定款への変更を評議員会で決議する。

## 解散に関する定款変更について

- 解散の事由の発生を明確化するため、定款における解散事由を存続期間の定めに変更することについて、評議員会に諮りたい。

### 変更案

#### 第43条（存続期間）

当法人は、2022年6月30日をもって解散する。

※ 任期が満了していない理事の職務も、2022年6月30日まで

TOKYO 2020

## 清算期に対応する定款変更について

- 組織委員会が解散することを条件として、法令に基づき清算期間に対応した定款に変更したい。
- 清算期間は、理事に替わり清算人が業務を執行するため、役員に関する条文等を変更する。

### 変更案

#### 第23条（役員の設置）

当法人に、次の役員を置く。

- 清算人 3名以上 6名以内
- 監事 1名以上 3名以内

#### 第25条（清算人の職務及び権限）

清算人は、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- この他の修正も含め、別紙の定款（案）のとおり、評議員会に諮りたい。

TOKYO 2020

## 規定の施行日について

- 各規定は、以下のとおり施行する。

規定	内容	施行日
第43条	解散事由を存続期間の定めに変更	令和4年6月27日から
第7条から第10条まで、第11条第2項、第13条第1項、第16条第1号、第2号、第4号及び第9号、第17条第2項、第18条、第19条第1項、第21条第3項、第23条から第40条まで、第41条（第1項を除く。）並びに第47条	清算期間に対応した定款に変更	令和4年7月1日から

- 6月27日開催予定の評議員会で諮る。

TOKYO 2020

## 清算期における組織体制について

- 解散後も清算手続が終了するまで組織委員会の法人格は継続。
- 清算期間中、法令で定められた業務のみを行う。

### 清算期における業務

清算の目的の範囲内においてのみ存続し、法令上、  
①現務の結了 ②債権の取立て及び債務の弁済 ③残余財産の引渡し等を行う。

### 清算期における業務執行体制

- 清算人が清算法人の業務を執行する。
- 清算人は、評議員会で選任予定
- 評議員会及び監事は引き続き置く。評議員会では、法令及び定款で定めた事項を決議。

### 事務局体制

- 庶務部門、企画部門、財務部門を設置する他、アドバイザーを置く。
- 事務局の職員は20名程度。

TOKYO 2020



# TOKYO 2020

東京2020 第50回理事会 資料

## 報告事項

---



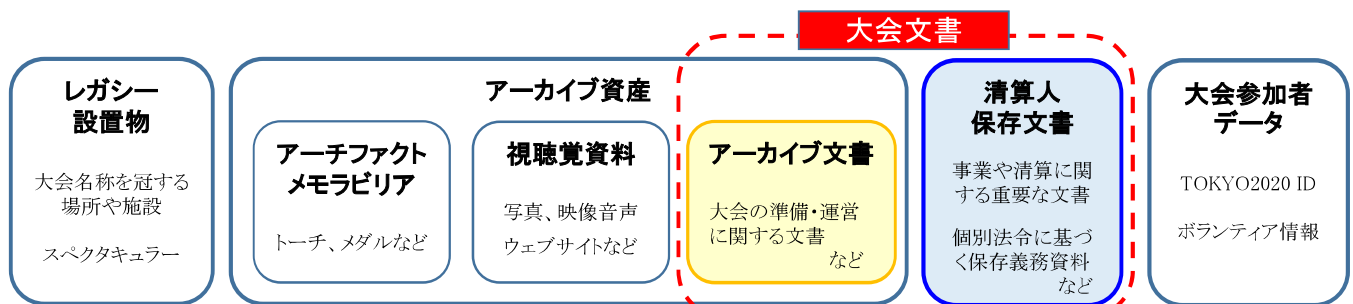
# 組織委員会の資産の保存・承継について

2022年6月21日

## 解散に際する各種資産の保存・承継について

### 1 総論

- ◆ 組織委員会の解散に際しては、開催都市契約等に基づき、2020大会の知見承継やオリンピック・パラリンピックムーブメント醸成のため、アーカイブ資産などを国内関係者(JOC、JPC、東京都など)に引き継ぐ
- ◆ 併せて、清算人は、いわゆる一般法人法等に基づき、重要な文書を清算終了後10年間保存



### 2 文書の保存・承継 \* 文書に関する権利については、開催都市契約に基づきIOCに帰属

- ◆ 大会文書については、外部委員(弁護士、会計士、学識経験者)で構成する『文書保存検討委員会』の意見を踏まえて、アーカイブ文書及び清算人保存文書として区分・整理を実施
- ◆ IOC等のノウハウを含む文書についても、できる限りアーカイブ文書として国内に承継し、2020大会のレガシーとして利活用できるようにIOCと調整
- ◆ 清算人保存文書は、法令を踏まえて着実に保存するとともに、アーカイブとして利活用可能な文書は、アーカイブ文書としても重複して承継



# アーカイブ文書の保存について

## 1 概要

- ◆ 開催都市契約やアーカイブ資産協定等に基づき、大会の準備・運営に関する文書について、国内関係者にアーカイブ文書として承継
- ◆ IOCの大会運営ノウハウなどを含む文書についても、将来の国際スポーツイベント主催者等が利活用できるようにIOCと調整

## 2 保存文書

- ・ 広く国内で利活用し、大会の歴史的・社会的意義を伝え、オリンピックムーブメントの推進に資する文書  
【例】 公式報告書、アクション&レガシープラン、持続可能性報告書、延期に伴う5者会議の共同ステートメント  
理事会資料、新型コロナウイルス感染症対策会議資料、ラウンドテーブル資料、記者会見録 など
- ・ 国際スポーツイベントの主催者等に限って利活用する大会の準備・運営の知見、専門技能などに関する文書  
【例】 会場別ブロックプラン、会場運営計画、選手村などのサービスガイド、CoCom資料 など

## 3 アーカイブ組織

JOC \* 運営は、アーカイブ管理委員会(JOC、JPC、都)での調整を踏まえて実施  
具体的な管理は、JOC及びJOCからの寄託を受けた都(都立中央図書館等)にて実施

## 4 その他

アーカイブ管理委員会を通じたIOCとの調整や、寄託先の閲覧準備等が整い次第、アーカイブ文書の利活用開始

# 清算人保存文書の保存について

## 1 概要

- ◆ 清算人は、いわゆる一般法人法などに基づき、清算法人の帳簿並びに、その事業及び清算に関する重要な資料などを、清算終了後10年間保存
- ◆ 文書の特定は、法令や他団体の事例を踏まえつつ、『文書保存検討委員会』の意見に基づいて実施

## 2 保存文書

主に、法人運営に関する文書であり、法令に基づく義務を履行するための文書

【例】 すべての稟議書、金額に関わらずすべての契約書、理事会及び評議員会の資料及び議事録  
貸借対照表及び損益計算書並びにそれらの付属明細書、会計帳簿、伝票及び証憑  
調達資料、寄付金額一覧、出勤簿、貸金台帳、診療録、撮影同意書 など

\* 個人情報や営業情報等を含み、守秘義務が課せられている文書が多いが、可能な限りアーカイブ文書として重複して承継

## 3 保存者

清算人 \* 実際の管理は、法律事務所及び文書倉庫会社に委託

## 4 その他

- ・ 財務諸表等は内閣府等のHPにて閲覧可能であり、それ以外も裁判所の許可があれば閲覧可能
- ・ アーカイブとして利活用可能な文書は、アーカイブ文書としても重複して承継

## 具体的な文書例

### 法令に基づき、清算人が保存する文書

#### ◆ 一般法人法

すべての稟議書及び契約書並びに関係書類  
理事会及び評議員会の資料及び議事録  
貸借対照表及び損益計算書並びに付属明細書  
調達資料、会計帳簿、伝票及び証憑など

#### 【個人情報が含まれるもの】

寄付金額一覧、撮影時等の同意書など

#### 【セキュリティに関するもの】

施設の電源インフラに関する資料など

#### ◆ 人事・労働関係の法令

労働者名簿及び出勤簿等(労基法)  
賃金台帳・源泉徴収簿(国税法、労基法)  
健康診断結果(労働安全衛生法)  
雇用保険の被保険者に関する書類(雇用保険法)  
住民税額通知書(住民税法)など

#### ◆ その他

課税仕入れ等の税額控除に係る帳簿(消費税法)  
運行記録(道路交通法)など

### HCCに基づき、アーカイブ組織(JOC)に承継する文書

#### ◆ 計画書・報告書・ガイドライン・記録関係

オフィシャルレポート、大会振り返り資料、飲食提供に関する基本戦略  
アクション&レガシープラン、大学連携活動報告書など

#### ◆ 会議及び説明会関係

理事会資料、新型コロナウイルス感染症対策調整会議資料  
持続可能性ディスカッショングループ資料、輸送連絡調整会議資料  
新型コロナウイルス対策専門家ラウンドテーブル資料、記者会見録  
調整会議資料、大会延期に伴う5者会議の共同ステートメント など

#### ◆ その他

各種要望書など

#### ◆ 将来の大会関係者に限って利用する文書

〇〇会場ブロックプラン、〇〇会場運営計画  
各種サービスガイド及びマニュアル(施設やFA単位)  
MOCアップデート会議、MOCデイリーレポート  
CoCom及びプロジェクトレビュー資料  
ステークホルダー向けの説明会資料など

**解散公告**

当法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第二〇六条第一号の規定により解散いたしましたので、当法人に債権を有する方は、本公告掲載の翌日から二箇月以内にお申し出下さい。なお、右期間内にお申し出がないときは清算から除外します。

令和四年七月一日

東京都新宿区西新宿二丁目八番一号  
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

清算人 武藤 敏郎  
清算人 布村 幸彦  
清算人 佐藤 広  
清算人 山本 隆